

Present for You

～この本を、あなたに。～

読書の季節、秋がやってきました！今年も読書週間特別企画として、篠崎図書館全スタッフが本を紹介。今回のテーマは「誰かに贈りたくなる本」。この秋は、誰かにプレゼントする本をコンセプトに本を選んでみてはいかが？

紙の本でドキドキしたい人へ

収録最後の「一卷の終わり」を読めば、電子書籍では得られない興奮をあなたは味わうことでしょう。私は部屋で一人でしたが「わー」と叫びました。江戸川区図書館にあるのは現在単行本のみですが、昨年文庫化をもって、作者の遊び心満載のしかけは完結しました。

「六つの手掛り」
乾 くるみ著
双葉社
Fイ
篠崎ほか所蔵



“見た目は太ったチャップリン”こと林茶父氏の活躍で、六つの事件を解決する推理短編集。収録作品名は「六つの玉」「五つのプレゼント」「四枚のカード」「三通の手紙」「二枚舌の掛軸」「一卷の終わり」。これだけでもニヤリ。

子育てに悩んでいるお母さんへ

叱る度に、子どもは嫌な気持ちになり自信を失っていくのだそうです。叱れば叱るほど、子どもの心は親から遠ざかってしまう……。私は怒ってばかりだった子育てを悔やんでいます。今、子育て中のお母さんに、それに気づいて子育てを楽しんでほしいと願い贈る本です。

「叱らない」しつけ
親野 智可等著
PHP研究所
379円
篠崎ほか所蔵

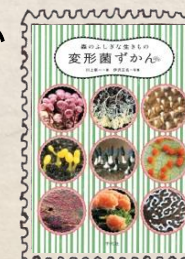


子どもの成長を望むなら、今すぐ「叱る」親をやめること。ほんの少し工夫するだけで叱らずに子育てをすることができる。著者の教師時代の失敗をもとになぜ叱ることがいけないのか、どのように育てたらよいのかを説く。

仕事で頭がいっぱいの人へ

たまには足元に目を向けてみませんか？ 目立たぬ場所で地道に成長する変わった生き物を目にすることができるかもしれません。朽ちかけた葉っぱの裏などでジワジワ育つ姿に思わず愛しさを感じてしまう1冊です。

「変形菌ずかん」
川上 新一著
伊沢正名写真
平凡社
473円
篠崎ほか所蔵



変形菌とは名前の通り形が変わるのが特徴で、美しい色をしたものや、色が変化するものもあります。中には昔アメリカで大量発生し、UMAとして恐れられたことがある菌も。美しい写真が豊富で、変形菌への愛情と情熱が伝わってきます。

(凡例)

おすすめしたい人

おすすめポイント

「書名」
著者名
出版社
請求記号
所蔵館

表紙

本の内容紹介

将来に悩んでいる人へ

中学生の夢が沢山詰まったこの本。夢を語る中学生たちはとても輝いてキラキラしています。将来何になりたいか考え中の子どもへ。また、大人が読んで、この子たちに将来を任せたいと明るい気持ちになれる素敵な一冊です。

「中学生の夢」
日本ドリーム
プロジェクト編
いろは出版
篠崎ほか所蔵
376.3円



日本ドリームプロジェクトが北海道から沖縄まで全国の中学校をまわり、中学生の夢取材しました。俳優になりたい、部活で全国大会に出たい……。47都道府県、47人の中学生の夢をまとめた一冊です。

ちょっと男心を覗いてみたい人へ

著者の体験が赤裸々に語られています。こんなことで悩むなんて……と思ってしまうですが、大人にとっては切実な問題。そんな男心がよく伝わってきます。同じ悩みを抱えている方にもお薦めです。

「カッターの秘密」
小林 信也著
新潮文庫
B595円
篠崎所蔵



若くして薄毛に悩む著者が理想のカッターに出会うまでを綴った本です。人生までも変えてしまう深い悩みと涙ぐましい努力、大人にしかわからない思いがぎっしり詰まっています。

お酒好きの人へ

お酒で失敗する人は、こんなことではいけないと思いつつ、お酒を止めることができなくて、自己嫌悪に陥ることもあるでしょう。しかし、この浮浪者のように努力をすれば、最後に素敵な幸運が訪れるかもしれません。

「聖なる酔っぱらいの伝説」
ヨーゼフ・ロート著
岩波文庫
B943円
篠崎ほか所蔵



セーヌの橋の下で、紳士が飲んだくれの浮浪者に200フランを恵む。いつかお金ができれば礼拝堂のテレーズ様へお返ししてくれたら良いと紳士は言うが、酒飲み特有の心の弱さから、浮浪者はなかなか返しに行けない……。

音楽を愛する高校生以上の人へ

主人公は「音楽」を聴き続けることで成長します。パンクに詳しい方ならご存知のバンドや曲が数多く登場します。そうでなくても大丈夫。登場人物達のいきいきとした会話や突飛な行動に共感していただけたら嬉しいです。

「ミュージック・プレス・ユー！！」
津村 記久子著
角川文庫
BFツ
篠崎ほか所蔵



アザミは高校3年生。数学の追試と補習に追われ、未だ進路も決まらない。日々を支えるのは、大好きなパンクロックです。否応なく迫る卒業までの一年間が描かれます。汗も涙も根性もないけどキュートな青春小説。

思春期の子どもたちへ

世の中の出来事になぜ？と疑問を感じたら、あるいは我が子に、疑問を持ってもっとよく考えてほしいと思ったら、読んでみて下さい。子どもたちにも読みやすく、また、大人も知らず知らずのうちに、哲学してしまいます。

「はじめて哲学する本」
藤原 和博著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
J100円
篠崎ほか所蔵



杉並区立和田中学校の民間人校長として活躍した著者が、生、死、家族、結婚、仕事、価値観、自由と責任、勉強すること、挨拶についてなど、25のテーマについて、わかりやすく身近な言葉で語ります。

まだ友人と呼べない本好きの知人へ

時代や国は異なりますが、本が好きな人どうしのやりとりはどこか似ている気がします。これからもお気に入りの本を通じて親交を深めたいと願っている知人に贈りたい一冊です。

「チャリング・クロス街84番地」
ヘレーン・ハンフ編著
中公文庫
B935円
篠崎所蔵



ニューヨークに住む本好きの女性が、ロンドンの古書店主に通った一通の手紙。書籍の注文書に始まった二人のやりとりは、やがて20年にわたることに。待望の本を手にする女性と、それを届けることができた店主、それぞれの立場での喜びを共有しつつ、二人は次第に友情を深めていく。

最近、歳だなあと思っている人へ

主人公・長野業政は現代でいうとスーパー爺さんです。人生50年の時代に、60代で当時最強と謳われた武田軍を数度にわたり撃退。人生に年齢は関係ない、本人のやる気次第で何でもできる。そう感じさせるほどパワフルな業政の活躍を、本書でお楽しみ下さい。

「業政駈ける」
火坂 雅志著
角川学芸出版
F七
篠崎ほか所蔵

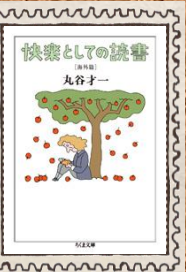


時は戦国時代。西上野の箕輪衆と呼ばれる豪族の盟主・長野業政は、娘達を箕輪衆や国衆に嫁がせ、彼らを一族として結束を固めていた。その西上野に侵攻してきた甲斐の虎・武田信玄を、業政は抜群の知恵と血の絆で迎え撃つ。

何を読んだら良いか分からない人へ

読んだ本の面白さを伝えるのは、とても難しいもの。著者はそれを読みやすい文章で、簡潔に、面白く伝えてくれます。さらに、翻訳の素晴らしい本を紹介しているので、安心して読めること確定！きっと良い本に巡り合えます。

「快樂としての読書 海外篇」
丸谷 オー著
ちくま文庫
B019円
小岩ほか所蔵



聖書、ホメロス、ナボコフ、クンデラ、ユーコ、マルケス、バルガス＝リョサなど、丸谷オーが海外の傑作を熱烈に推薦した114篇の書評。紹介された本が面白いのは勿論のこと、書評自体も面白い読み物となっています。

「今度の特集で“プレゼントしたくなるような本”、紹介してよ」と言われてしまった人へ

お題に困って検索していたら、そのものズバリの本を見つけてしまいました(笑)。著者森岡氏の写真集に対する熱い思いが伝わってきます。白を基調としたお店の様子も良いです。入りづらそうだけど。

「写真集 誰かに贈りたくなる108冊」
森岡 督行著
平凡社
740円
篠崎ほか所蔵

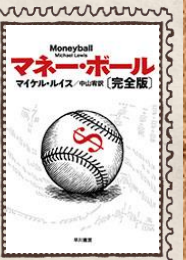


東京・茅場町の築80年のレトロビルに古書店を構える著者が、国内外の新刊から稀覯本まで、名作写真集108冊をセレクト。その中から、各方面で活躍する著名人に贈る本を選んで、手紙を添えて紹介する。

すべての野球ファンへ

「セオリー」や「勘」、「流れ」が支配していたグラウンドの一举一動を数字で表し、合理的な判断を下そうとするビーン。その方法に瞠目し、メジャーリーグという夢の舞台に立った人々の人間ドラマに胸が熱くなりました。最高の野球本です。

「マネー・ボール」
マイケル・ルイス著
ハヤカワ文庫
B783円
篠崎ほか所蔵



かつて松井秀喜も所属したオークランド・アスレチックス。新任ゼネラルマネージャーのビリー・ビーンは、資金難から成績不振に陥ったチームを立て直すため、従来とは違ったやり方でチーム作りを始める。

夫婦になる(なった)人へ

大切な人を失うとこんなにも世界が変わるのかとこの本を読んで感じます。一緒に歩いた街を一人で歩く空虚感や苦しみ、その人を想う強い愛が写真や日記から伝わります。今、そばにいる人をいつまでも大事にしてくださいね。おめでとう。

「東京日和」
荒木 陽子・荒木 経惟著
ポプラ文庫
B748円
松江ほか所蔵



妻のエッセイと一緒に歩く夫が撮る街並みの写真。そして、亡くした妻を想いながら歩き、ひとり写した空や愛猫や東京の景色。写真家・荒木経惟と陽子夫妻による、二人三脚の人生の、切なくも幸福な日々の記録です。